

四国生乳販連ニュース

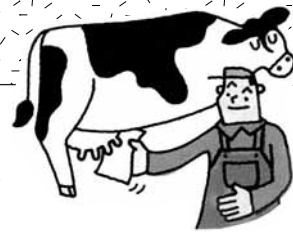
四国四県の生産者と連合会をつなぐコミュニケーション紙

第29号

発行日／平成26年8月31日

発行所／四国生乳販売農業協同組合連合会
〒760-0023 香川県高松市寿町1丁目1番12号

編集・発行人／菊川 時彦



第14回通常総会

平成26年7月28日、香川県高松市サンポートホール高松において、農林水産省及び四国各県行政・全国連・会員団体等多数の来賓ご臨席のもと、第14回通常総会を開催いたしました。柳瀬会長の主催者挨拶の後、ご来賓を代表して、農林水産省生産局畜産部牛乳乳製品課 富澤課長補佐、中央酪農会議 内橋事務局長よりご祝辞を頂戴いたしました。その後全国農業協同組合連合会高知県本部の濱口県副本部長が議長として選任され、議案の審議に入りました。

第1号議案「平成25年度事業報告及び剰余金処分案承認の件」及び附帯決議案について、原案どおり可決承認されました。



～平成25年度事業報告の概要～

○生乳共販事業

生乳販売量は128,638ト、取扱計画比98.4%、前年比97.1%。用途別販売の動向は、飲用等向け（飲用向け、学乳向け、はっ酵乳等向けの合計量）・前年比98.0%。特定乳製品向け（加工向け）は5,908ト・79.4%、加工比率は、4.6%と前年度を下回った。その他、生クリーム向け・前年比110.0%と大幅増、チーズ向け・67.8%と減少。

生乳販売高は、140億717万円、計画比100.3%、前年比98.8%、これに対する1kg当り販売単価（成分加算金含む）は108円88銭8厘。

○乳価・集送乳経費の平準化

四国の手取乳価（成分加算金1.26円/kg含む販連プール乳価－集送乳経費＝手取乳価）は、102円64銭/kg。前年度実績比1円67銭/kgの上昇、23年度実績比1円74銭/kgの上昇、22年度実績比2円56銭/kgの上昇となっている。

プール乳価は、108円89銭/kg（成分加算金含む）・前年比1円93銭/kgの上昇。この主な要因は、10月からの飲用向け値上げ等によるもの。

四国全体の集送乳経費の実績は8億481万円、受託乳量当り6円25銭/kgで前年度より約26銭/kgの上昇。集送乳の合理化等による効果が一定程度出ている地域もあるが、島内需要の減少（前年比△7,190t）により、島外搬出量が増加（前年差+3,297t）する構造的な要因により、集送乳経費全体としてはやや上昇傾向にある。

○生乳計画生産対策

四国の目標数量は中央からの配分を受けた、133,239トﾝ・前年実績比100.6%の設定とし、会員へは実績に基づき一律配分を行った。

しかし、四国の生産基盤の脆弱化に歯止めがかからず、初妊牛価格の高止まり等により、実績は128,493トﾝ・前年比97.0%と、目標数量に対して約4,750トﾝの未達、24年度実績に対して約3,900トﾝの生産減となった。

○生乳検査業務

(1)平成25年度の検査料金は、従来と同様、配分検査26銭/kg、牛群検定95円/検体、依頼検査95円/検体(成分・体細胞)、200円/検体(細菌)で実施。

総検体数は200千検体(計画比96.1%)、検査料収入は約48,366千円(前年実績比96.7%)となり、検査委託料、検査機器類の減価償却費、検査消耗品、検体輸送料等の経費と検査機器更新積立金(10,000千円)に充当した。

(2)統一乳質規制によるペナルティー対象は、乳成分・体細胞・細菌全体で金額1億3,854万円、対象人数延べ3,700人で、前年と比べ人数は155人減少、金額では844万円の増加となった。細菌数ペナルティー金額は減少(約120万円)しているが、体細胞数ペナルティー金額(約750万円)と乳成分ペナルティー金額(約250万円)が増加した。

○牛乳消費拡大地域活動

牛乳消費促進対策事業「MILK JAPAN」に、中央と連携して取り組んだ。また、昨年を引き続き穴吹動物看護カレッジと共催し、四国地域酪農教育ファーム推進委員会のご協力のもと、酪農体験イベントを開催したほか、中四国農政局主催、中国生乳販連と本会共催で「第1回牛乳が好き。MILK JAPANフォトコンテスト」の開催や、香川県主催の食育イベントにブース出展するなど、新たな取り組みを実施した。

○酪農教育ファーム活動

認証牧場9戸(徳島3、香川5、高知1)の各牧場で酪農体験会や出前授業などを実施し、子ども達や一般消費者を対象に、酪農の理解醸成活動を実施している。また、(一社)中央酪農会議の「平成25年度酪農教育ファーム地域活動推進支援事業」を活用し、学校側に体験料やバス賃借料の経費助成を実施した。26校約1,500名がこの事業を活用して体験会を実施した。

○補助事業の事務の実施

加工原料乳生産者補給金の交付事務、加工原料乳等生産者経営安定対策事業、チーズ向け生乳供給安定対策事業、加工原料乳確保緊急対策事業を実施し、会員・農協を通じて、生産者に助成金等を交付した。

また、平成25年度生乳需要基盤強化対策事業(国産牛乳乳製品需要緊急確保事業)を活用し、四国4県の地方紙(徳島新聞・四国新聞・愛媛新聞・高知新聞 合計発行部数約94万部)に、飼料価格高騰等による国産牛乳乳製品の価格上昇に対する理解醸成新聞広告を掲載した。

～貸借対照表～

平成26年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
I 流動資産	1,623,724	I 流動負債	1,459,037
1.預金	286,142	1.事業未払金	1,321,276
2.事業未収金	1,305,891	2.事業未精算債務	27,450
3.事業未精算債権	39,884	3.雑負債	102,037
4.雑資産	6,432	3.法人税等	7,282
5.貸倒引当金	△14,625	4.未払消費税	992
II 固定資産	4,155	II 固定負債	51,164
1.有形固定資産	73,803	III 引当金	3,447
(減価償却累計額)	△73,003	負債の部合計	1,513,648
2.無形固定資産	4,122	I 純資産	100,000
(減価償却累計額)	△3,787	II 利益準備金	4,000
3.外部出資	3,020	III 繰越利益剰余金	10,231
		(うち当期利益剰余金)	(6,900)
		純資産の部合計	114,231
資産の部合計	1,627,879	負債及び純資産合計	1,627,879

～損益計算書～

平成25年4月1日～平成26年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	金 額
I 事業総利益	60,874
(事業収益)	(14,007,174)
(事業費用)	(13,965,140)
事業総利益	60,874
II 事業管理費	69,546
事業損失	8,672
III 事業外収益	127,701
IV 事業外費用	92,197
経常利益	26,832
V 特別損失	12,650
税引前当期利益	14,182
法人税等※	7,282
当期剰余金	6,900
繰越剰余金	6,332
利益準備金	3,000
当期末処分剰余金	10,232



※法人税等：検査機器更新積立（25年度積立額10,000千円）は、利益からの有税積立となるため、税務上必要な額を含む。

生乳受託販売委員会の委員の変更

任期満了に伴い、本会の生乳受託販売委員が以下の通り選任されました。なお、任期は26、27年度の2年間です。

生乳受託販売委員会委員名簿

区 分	氏 名	所属団体等
会 長	柳 瀬 一 範	四国生乳販連 代表理事会長
連合会の役員	原 浅 之	四国生乳販連 副会長理事
連合会の役員	木 村 保 夫	四国生乳販連 代表監事
連合会の役員	古茂田 忠 典	四国生乳販連 理事
徳島県の区域	片 岡 寛 之	徳島県酪農協 副組合長理事
//	高 瀬 敏	徳島県酪農協 理事
//	向 将 勝	徳島県酪農協 代表監事
香川県の区域	赤 松 省 一	香川県生乳受託販売推進協議会 会長
//	佐々木 英 樹	香川県生乳受託販売推進協議会 委員
//	西 野 豊 ※	香川県生乳受託販売推進協議会 委員
愛媛県の区域	京 森 高 賀 ※	愛媛県酪農経営者協議会 会長
//	平 田 将 三	愛媛県酪農経営者協議会 副会長
//	門 山 茂 樹 ※	愛媛県酪農経営者協議会 副会長
高知県の区域	桑 鶴 精 二	高知県酪農連合協議会 会長
//	濱 口 承 一 ※	高知県酪農連合協議会 副会長
//	眞 嶋 順 一 ※	高知県酪農連合協議会 理事

※新任委員



平成26年度生乳取引について

平成26年7月16日に第52回生乳受託販売委員会を開催し、以下のとおり生乳取引交渉の方針が決定しました。

I 生乳取引をめぐる情勢

- ①今年4月に消費税が8%へと引き上げられたが、アベノミクス効果を背景に、駆け込み需要による反動減は、小幅にとどまり、影響は少ないと見られている。食品業界においては、長く続いてきた消費不振や節約志向により、消費者に低価格商品が浸透し、同業者間での価格競争がますます激化してきている。加えて、量販店等の値下げ圧力など、外的環境は極めて厳しいものとなっている。
- ②こうした中、大手乳業者は4月から値上げした乳製品向け生乳（加工・チーズ・生クリーム向け）・その他製造コストの上昇・消費税改定など、諸般の流通事情等を踏まえ、乳製品（バター・チーズ）小売価格の値上げについて、7月若しくは8月から価格改定を実施した。飲用向け等については、現状では値上げ（価格転嫁）できる環境にないとの見方で、各広域指定団体の動向等を静観している状況にある。
- ③主力産地においては、10月以降の下期乳価について、7月上旬の販売委員会において協議の結果、次のとおり要求水準等を決定した。
要求水準については、飲用向け3円以上値上げ（10月1日より）。はっ酵乳等向け5円値上げ（実施時期は速やかに）

II 四国における状況など

(1) 地域における生産コスト状況

- ①愛媛県以外（特殊事情による）の3県の酪農家に協力いただき、24年・25年の決算書類等により生産費の実態調査を実施した。（調査対象農家戸数27戸…1県9戸）
- ②項目ごとに増減はあるものの、コスト上昇として突出しているのが餌コスト。
四国平均では4.50円/kgの上昇（徳島4.50円/kg、香川5.50円/kg、高知3.50円/kg）

(2) 乳価の確保状況

- ①平成25年度
下半期（10月～3月）は、飲用向け5円値上げ（学乳向けは除く）により、平均3.70円/kgの乳価上昇となり、年間では1.85円/kgを確保。
- ②平成26年度
平成26年4月より、学乳向け5円値上げ（+0.48円/kg）、乳製品向け「生刈-Δ3円/kg、チーズ8円/kg、加工1.5円/kg」値上げ（+0.12円/kg）により+0.60円/kgを確保。
- ③現時点（7月末）でのトータルの乳価上昇水準は、+4.54円/kgを確保している。

III 26年度乳価値上げ要求

生産コストの上昇やTPPなどによる将来への不安を解消・払拭し、良質乳生産に努め「経営安定」と「所得向上」を目指すため、乳価値上げ要求を以下のとおりとする。

尚、要求水準根拠については、生産費実態調査等を活用した四国独自の試算による。

- 飲用向けに対して、3円以上の値上げ
- はっ酵乳等向けに対して、5円の値上げ。
- 値上げ時期については、速やかに改定すること。

7月までの乳価

(単位:kg,円)

	受託乳量	販売金額 (成分加算金含まず)	プール乳価	前年差	成分加算金 平均単価	平均 受取単価
4月	11,201,662	1,209,189,189	107.95	+4.18	1.30	109.25
5月	11,358,768	1,249,666,834	110.01	+4.12	1.14	111.15
6月	10,360,787	1,163,350,909	112.28	+4.76	1.10	113.38
7月	10,018,139	1,120,394,198	111.84	+5.24	1.03	112.87
累計	42,939,356	4,742,601,130	110.45	+4.54	1.15	111.60

加工原料乳等生産者経営安定対策事業について

独立行政法人農畜産業振興機構より、平成25年度平均取引価格及び平成26年度補填基準価格についての通知がありました。平成26年度の生産者拠出金単価と合せて、以下のとおりお知らせ致します。

平成25年度加工原料乳平均取引価格	75.08円/kg
平成26年度脱脂粉乳・バター等向け生乳補填基準価格	74.05円/kg
平成25年度チーズ向け生乳平均取引価格	51.27円/kg
平成26年度チーズ向け生乳補填基準価格	49.66円/kg
平成26年度生産者拠出金単価	0.25円/kg

平成25年度乳質改善共励会の結果報告

日頃より、良質乳の生産にご尽力いただき、ありがとうございます。

平成24年度から、各県会員団体で実施している乳質改善共励会に協賛し、以下のとおり各県最優秀賞受賞者に対して、「四国生乳販連会長賞」の賞状及び副賞10万円を授与いたしました。

良質乳生産に対して深謝いたしますとともに、今後も高品質かつ安全・安心な生乳生産を通じ、当連合会の生乳販売業務への一層のご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

	表彰日	最優秀賞受賞者
徳島県	6月27日	岡本雅史
香川県	8月19日	久保弘文
愛媛県	3月8日	山本真一
高知県	3月26日	小谷 恵

乳成分検査データの持つ意味

乳脂肪、乳タンパク質、乳糖などの乳成分は血液から乳腺に取り込まれた種々の原料から合成されます。このため、乳脂率、乳タンパク質率、無脂固形分率、乳糖率、MUN（乳中尿素態窒素）等の乳成分含量の変化から牛乳の原料、すなわち摂取飼料の量やバランスが適正かどうか、乳牛の体調などを知ることができます。これらのデータは牛群検定に参加していれば1頭ごとに入手できます。また、参加されていない農家でも、上旬・中旬・下旬に検査したデータで乳成分含量を知ることができますので、搾乳牛群全体の平均的な体調が確認できます。

乳成分から家畜の状態をモニタリングしようとした場合には1回の検査データだけで判断するのではなく、乳期を追って継続して検査し、変動傾向をつかむことが大切です。そして、乳成分が急激に変化したときには何か原因があると考え、管理を見直す必要があります。

今回は、主に乳成分に及ぼす飼料的要因について紹介します。

項目	基準値	備考
乳脂率	3.50%以上	<ul style="list-style-type: none"> 濃厚飼料と粗飼料の給与比率が強く影響しますので、乳脂率が低下した場合には摂取している飼料の構成を見直す必要があります。 乳脂率の維持には安定したルーメン内発酵、とくにPHが重要で、緩衝性無機塩なども利用されています。濃厚飼料などの多回給餌は乳脂率低下の軽減にも繋がります。
乳タンパク質率	3.10%	乳タンパク質率が低下した場合には、エネルギーの充足率をチェックする必要があります。エネルギーが不足すると乳タンパク質の合成に使うべきアミノ酸もエネルギー源として使われる可能性が高いからです。
無脂固形分率	8.30%以上	低ければ濃厚飼料の不足、高ければ濃厚飼料の過剰です。
乳糖率	4.4~4.5%	乳糖率が低下した場合には、低栄養状態や乳房炎、または肝機能障害を疑ってみる必要があります。また、乳糖率は穀類（デンプン）の充足を示す指標なので、給与飼料によっては低くなる場合があります。
MUN（乳中尿素態窒素）	8~16mg/dL	MUN濃度が高い場合にはエネルギー不足を疑ってみる必要があります。 MUNは低ければ低いほど飼料中のタンパク質が効率よく利用されていることを示していますが、低すぎる場合はタンパク質給与量が不足していることが考えられます。

《参考：その他》

項目	基準値	備考
浸透圧	275以上	<ul style="list-style-type: none"> 生乳の浸透圧は、生乳の氷点により換算される。生乳の氷点は個体、飼料、季節等の諸条件により左右される。 270以下で乳成分（乳脂肪・無脂固形）も著しく低下している場合は、加水を疑う必要がある。

生乳処理室美化への取組み

「食の安全・安心」に対する関心が高まる中、食品安全基本法において、生産者は食品関連事業者として位置づけられており、自らの責任において安全性を確保するため、必要な措置を講ずるよう努めることが求められております。

酪農業の発展と経営の安定を図り、新鮮で良質な生乳を消費者に供給すると共に、生乳の広域流通にも対応しうる乳質向上により、生乳の有利販売につなげていきたいと考えております。

皆様の牧場でも以下の点を点検いただき、身近なことから改善に向けた取組みをお願いします。「乳質の良い四国の牛乳」作りに、四国全体で取り組んでいきましょう。

生乳処理室の整理・整頓・清掃

- 床及び天井、壁面の清掃
- 関係のない器具・道具類を置かない
- バルク・冷凍機の上に物を置かない
- 排水の処理が適正で異臭がしない
- 換気が良く湿気が少ない
- ミルカー・バルクが衛生的に管理されている



生乳処理室の隔離・施錠

- 処理室と牛舎の居住部分が仕切られており開放されていない
- 施錠できる環境にある
- 関係者以外立ち入り禁止の札を掲げている
- 小動物が入らない
- 踏み込み消毒槽の設置



薬品類の適正な取り扱い

- 処理室には、洗剤・殺菌剤以外の薬品を置かない



平成26年度の生乳需給をめぐる情勢（7月まで）

1. 平成26年度7月までの受託販売実績（生乳生産）の動向

（1）全国

- 7月までの累計の生産動向（受託乳量）は、北海道1,273千ト（前年比97.4%）、都府県1,151千ト（同96.2%）、全国2,424千ト（同96.8%）と、全国的に前年を大きく下回っている。

（2）四国

- 7月末までの累計で、42,887ト（前年比95.6%）。
- 県別では、徳島11,260ト（同91.6%）、香川12,112ト（同101.4%）、愛媛11,904ト（同92.3%）、高知7,611ト（同98.7%）。特に徳島県と愛媛県での生産減が著しい。

《全国・北海道・都府県と四国の受託販売実績》

単位：ト・%

会員団体	4月		5月		6月		第1四半期合計	
		前年比		前年比		前年比		前年比
北海道	308,596	96.1	326,127	97.2	318,148	97.4	952,870	96.9
都府県	295,640	96.4	301,554	96.2	279,906	96.1	877,100	96.2
全 国	604,236	96.2	627,681	96.7	598,053	96.8	1,829,970	96.6
四 国	11,189	96.6	11,345	95.8	10,347	94.9	32,881	95.8
徳島県	2,939	93.7	2,955	91.0	2,721	90.1	8,615	91.6
香川県	3,140	101.7	3,226	101.6	2,952	101.3	9,317	101.5
愛媛県	3,146	93.1	3,153	92.8	2,822	91.2	9,121	92.4
高知県	1,964	99.5	2,011	99.2	1,852	99.1	5,827	99.2

単位：ト・%・戸

会員団体	7月		累計		出荷農家戸数 (7月末)
		前年比		前年比	
北海道	320,427	98.8	1,273,297	97.4	/
都府県	274,045	96.2	1,151,145	96.2	
全 国	594,472	97.6	2,424,442	96.8	
四 国	10,006	95.1	42,887	95.6	
徳島県	2,645	91.5	11,260	91.6	121
香川県	2,794	101.1	12,112	101.4	96
愛媛県	2,783	92.1	11,904	92.3	120
高知県	1,784	96.8	7,611	98.7	58

※四捨五入の関係上、合計値が一致していないことがあります。

※都府県・全国の前年比は、アウト・イン修正した数字です。

※四国の実績につきましては、公共分乳量が含まれていません。

2. 四国の用途別販売実績の動向

- 7月までの累計で、飲用等向けは40,336ト（前年比96.4%）と減少し、特定乳製品向け（加工向け）は1,814ト（前年比80.5%）と大幅に減少している。
- 用途別比率は、飲用等向け（飲用向け+学乳向け+はっ酵乳等向け）が93.9%、特定乳製品向け（加工向け）が4.2%。

単位：ト・%

用途	4月		5月		6月		第1四半期		用途別比率
		前年比		前年比		前年比		前年比	
飲用向け	9,326	100.3	9,887	100.5	9,407	99.2	28,620	100.0	86.9
学乳向け	331	98.3	466	93.6	484	105.0	1,281	98.9	3.9
はっ酵乳等向け	247	44.3	265	44.9	245	40.8	756	43.3	2.3
飲用等向け	9,904	97.2	10,618	97.1	10,136	96.1	30,657	96.8	93.1
特定乳製品向け	1,119	92.0	546	74.8	21	13.2	1,686	80.2	5.1
生クリーム向け	161	95.7	173	96.5	188	98.2	522	96.9	1.6
チーズ向け	5	66.0	8	100.8	3	29.9	16	64.6	0.0
公共向け	13	80.6	14	89.1	13	105.4	40	90.8	0.1
総受託乳量	11,202	96.6	11,359	95.8	10,361	95.0	32,921	95.8	100.0

用途	7月		累計		用途別比率
		前年比		前年比	
飲用向け	9,144	98.7	37,764	99.7	87.9
学乳向け	311	96.1	1,592	98.3	3.7
はっ酵乳等向け	224	39.2	980	42.3	2.3
飲用等向け	9,679	95.3	40,336	96.4	93.9
特定乳製品向け	128	84.6	1,814	80.5	4.2
生クリーム向け	191	97.7	713	97.1	1.7
チーズ向け	8	94.6	24	72.5	0.1
公共向け	12	98.8	52	92.5	0.1
総受託乳量	10,018	95.1	42,939	95.6	100.0

※四捨五入の関係上、合計値が一致していないことがあります。



フォトコンテスト 写真募集中

前回の
最優秀賞作品



「湯あがり牛乳」



「でっかいお乳だなあ」



「母から子へ」

◆募集部門◆

①牛乳・乳製品の部

牛乳を飲んでいる(又は乳製品を食べている)姿。

なお、商品を持定できるものは審査対象外となりますので、お気を付けてください。

②乳牛とのふれあいの部

乳牛、酪農とふれあう姿。

なお、牧場での写真撮影の際は、牧場責任者に許可を得た上でその指示に従ってください。

◆応募資格◆

中国四国地域在住の方

◆応募作品◆

応募者本人が平成25年6月以降に撮影した未発表作品。

人物が被写体となっている場合は被写体(人物が未成年者の場合はその保護者)の了承を得たもの。

◆応募点数◆

各部門につき2枚まで。

◆募集締切◆

平成26年9月30日(火) 当日消印有効

◆応募方法◆

プリントサイズはA4とし、作品の裏面に住所、氏名、作品のタイトルを記入した上で、応募票(応募ちらしに掲載。中四国農政局のHPからダウンロードできます。)を添付して応募ください。

◆問合せ先◆

中国四国農政局 生産部畜産課 086-224-4511

四国生乳販売農業協同組合連合会 087-822-8151

主催: 中国四国農政局 共催: 四国生乳販連、中国生乳販連、(一社)中央酪農会議、(一社)Jミルク

検索

中国四国農政局 「牛乳が好き。」フォトコンテスト

四国生乳販連・行事だより

会 議 名		協議内容・報告事項
開催月日	場 所	
平成25年度決算監査		<ul style="list-style-type: none"> 25年度決算監査
6月6日	四国生乳販連 会議室	
第10回四国地域酪農教育ファーム 推進委員会		<ul style="list-style-type: none"> 25年度酪農教育ファーム活動報告 26年度酪農教育ファーム実施計画
6月25日	サンポートホール高松 5F 会議室	
第2回理事会		<ul style="list-style-type: none"> 25年度事業報告及び剰余金処分案 25年度決算監査 26年度生乳取引を巡る情勢 加工原料乳経営安定対策事業に係る拠出金単価 25年度BSE対策及び残留農薬対応酪農互助基金 返還額の処理並びに26年度同基金 生乳受託販売委員の任命 日本酪農香川工場及び四国乳業坂出工場閉鎖に伴う 集出荷体制 25年度四国乳業(株)の事業概況等
7月1日	香川県農協本店 西の丸別館会議室	
第52回生乳受託販売委員会		<ul style="list-style-type: none"> 生乳受託販売委員任命の件 26年度生乳需給をめぐる情勢並びに四国の生産動 向等 26年度生乳取引をめぐる情勢
7月16日	香川県農協本店 西の丸別館会議室	
第14回通常総会		<ul style="list-style-type: none"> 25年度事業報告及び剰余金処分案承認
7月28日	サンポートホール高松 6F 会議室	

台風・大雨等による被害に遭われた皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。

まだまだ台風シーズンが続きますので、引き続き十分な備えをお願いします。
また、冠水・土砂崩れによる集乳路線の寸断や停電等によるバルクの保冷不全、
牛舎の破損等、被害のあった場合は、すぐに担当農協等にご連絡ください。